

2014年11月6日

関係各位

野村証券株式会社

野村証券、「野村日本株高配当70・配当総額加重型」の公表を開始

野村証券株式会社(代表執行役社長:永井浩二)は、「野村日本株高配当70・配当総額加重型」の公表を開始したと発表した。本指数は、国内上場普通株の中から予想配当利回りが高い70銘柄を選んで構成銘柄とする、非時価総額加重型の指数である。2012年に公表された野村日本株高配当70(以下「高配当70」と同様に、高配当戦略をパッシブ運用で実現できるように設計された指数であり、より大きな資産規模でも運用しやすいようにデザインされている。

高配当70が等金額型であるのに対して、本指数は配当総額加重型であり、構成銘柄のウエイトは配当総額(各構成銘柄の平均配当総額の全体に占める比率)に基づいて決定される。等金額方式に比べ銘柄入替時の売買インパクト低減が見込める。さらに、株主資本配当率(DOE:配当総額÷自己資本)によるスクリーニングを導入し、配当の質と安定性を考慮しつつ、配当政策と自社株買いの両面から株主還元を評価できるよう配慮している。

本指数は、国内高配当利回り株式への集中投資を容易かつ低コストで実現可能とすることを目的として、長期の運用規模の大きな投資ニーズに対応すべく開発された。本指数に連動する金融商品を組成する際の運用実務に配慮し、本指数は客観的なインデックス構築ルールに基づき、投資可能な株式で構成される。

本指数の算出は野村証券金融工学研究センターが行い、指数値および指数構築ルールは同社証券市場インデックスWebページ(<http://qr.nomura.co.jp/jp/nhdivd/index.html>)にて公表される。

同社は今後も、本指数に連動する金融商品の開発を通じて、投資家のニーズに沿ったサービスの提供を積極的に展開していく。

以上